

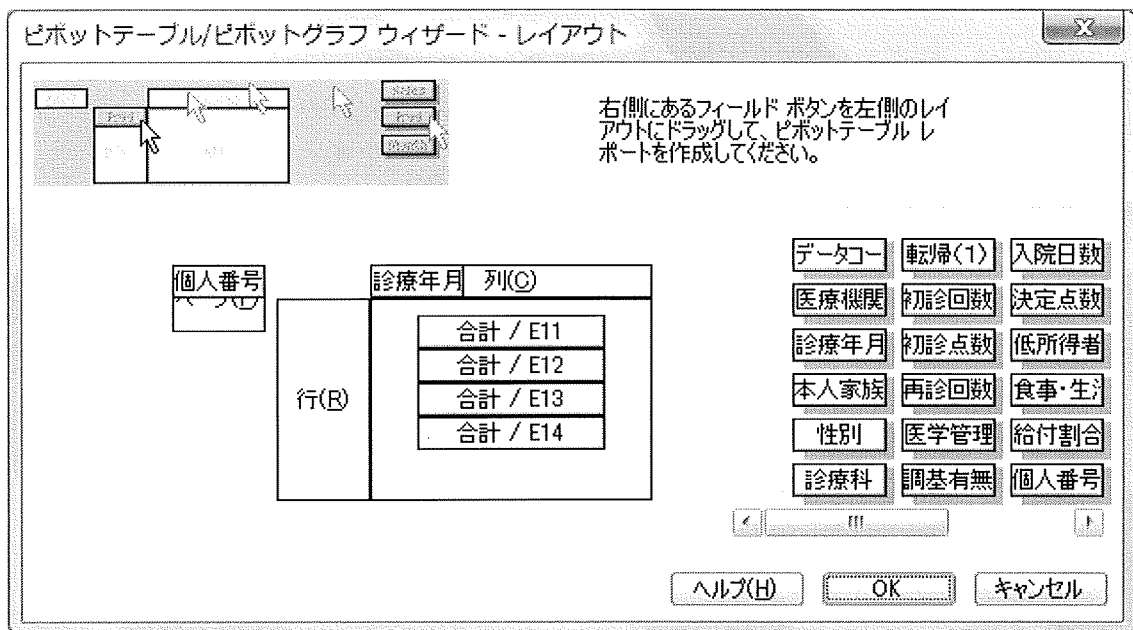
102	42003	42004	42005	42006	42007	42008	42009	42010	42011	42012	42101	42102	42103	総計
		3	6	5	6	6	6	8	6	11	9	13	10	89
	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	27
	6	158	151	173	171	161	175	180	159	169	150	163	149	1965

様式 5-7 では年単位でデータを見ていますが、この表は月単位でデータを見ています（上図の和暦データの 4 は平成、その次の 2 桁は年、最後の 2 桁は月を表しています：参考 23 区データ）。その差はあれど、操作は基本的に同じです。年単位にしたい場合は月をグループ化するといいでしょう。

EXCEL2003 の場合は以下のとおりです。この様式は、様式 1-1 を改造するだけでできます。

様式 1-1 のピボットテーブルをもう一度呼び出してください。

データを右クリックしてピボットテーブルウィザードを選びます。



上図のように変数をドラッグすると、以下のようなテーブルができます。

42001	42002	42003	42004	42005	42006	42007	42008	42009	42010	42011
			3	6	5	6	6	6	8	6
	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	6	158	151	173	171	161	175	180	159	159

様式 5-7 では年単位でデータを見ていますが、この表は月単位でデータを見ています（上図の和暦データの 4 は平成、その次の 2 桁は年、最後の 2 桁は月を表しています：参考 23 区データ）。その差はあれど、操作は基本的に同じです。年単位にしたい場合は月をグループ化するといいでしょう。

このように、ほとんどの様式はピボットテーブルを利用することで作成できます。

